

Kayak Dog

[Home](#) ▶ [工房 "KAYAK9"](#) ▶ [Wood Duck 12の製作](#) ▶ (17) 塗装と艀装

(17) 塗装と艀装

2012年 5月 10日(木曜日) 10:26 | Author: サセックス卿 | [📄](#) [📁](#) [✉](#)

ニス塗装前に進水式で海に出ちゃったわけなのでまだキチンと艀装もしていませんし、もちろん耐UV塗装もしていません。冬の間にはニス塗装とシートやバックレストなどの艀装をのんびりやります。

まずは一見ツルツル実はデコボコのエポキシ・コートを研磨して平滑な塗装面を作ることから始めます。サンダーかけてと行きたいところですが、カヤックはほとんど曲面ですし、薄いエポキシ層を削りすぎるとファイバークラスまで削ってしまうことになり、強度的に問題あります。そこで見た目にデコボコしているデッキ面をスクレーパーで削ってみました。



このスクレーパー、ただの0.6mm厚スウェーデン鋼製の板ですが、ごくわずかな返しが付いてあるのでカンナをかけるようにスルスルと堅いエポキシが削れていきますし、サンダーみたいに細かい研磨クズが出ないのありがたい。

メインメニュー

[Home](#)

[工房 "KAYAK9"](#)

[Wood Duck 12の製作](#)

[カヤック製作準備](#)

[アトリエ](#)

[情報源](#)

[アマゾン号に乗りたい!](#)

[コンタクト](#)

[プロフィール](#)

[ブログフィード](#)

[Links](#)



テカって見える箇所は凹んだ部分で、これがなくなるまで研磨しないとニス塗った時に分かってしまうでしょう。ハルの比較的平らな面はサンダーで研磨しましたが、電動工具はパワーがあるのでつつい削りすぎてもう少しでファイバグラスが見えちゃうという箇所ができてしまいました。

さて、これ以上はサンダーかけられないとなっても、まだ（特に照明下では）表面のデコボコやムラが消せません。さてどうしたものか？もっと削ってみる？それとももう一回エポキシのフィルコートを試みる？再度コーティングしてもまた小さな凹みができるのは同じだと思われたので、この凹みを埋めるためにサンディングシーラーのお世話になることにしました。硬化すれば透明になる2液性ウレタン・サンディングシーラーを塗り、硬化してから紙ヤスリで研磨。見事にツルツルの塗装面が仕上がったのが下の写真です。



次はいよいよ耐UVニスによる最後の塗装です。使ったのはエポキシと相性が良いというSystem Three社のSPAR URETHANE（1液性）です。1ガロン缶を買ったのですが、カヤック全体の4回塗装で使用したのは300mlあまり、あと5、6回は船が造れそうです。

「paintingはアートである」とマニュアルに書いてあった通り、なかなか上手くは塗れません。薄い（thin）塗面を作りそれを何層も重ねるのが理想と思うのですが、結構な粘度のあるニス（缶の説明には『希釈するな！』と書いてあるし）を薄く伸ばして塗るのは難しいです。結局15%まで希釈して塗りましたが、これは今後の練習課題として残りました。

塗装が済んだら艀装です。

- シートの固定（ヒップブレイスにもなるように）
- フットブレイスの（乗り手に合わせた）固定
- バックレストの固定
- 後部ハッチの固定（下からバンジーコードで引っ張ることに）





シートは支持板にマジックテープで留めてあるだけです。最後にオーナーを乗せてみて、フットブレイス位置を確認の上、サイドパネルを貫通するビスで固定しました。



さあ、これで我が最初の自作カヤックの完成です。

最終更新 (2012年 5月 26日(土曜日) 08:18)

© 2009 [Kayak Dog](#)
All Rights Reserved.

powered by Joomla
free templates by Deposit Poker & Unlimited Web Hosting